



表紙 砂の造形大会

5月20日、お倉ヶ浜海水浴場で、砂の造形大会が開かれました。参加した大人も子供も、みんなが芸術家。

このグループは、アニメーション「となりのトトロ」に登場する、トトロづくりに挑戦。

初夏の太陽と潮風の中で、心地よい汗を流していました。

■特集

介護保険制度／風水害に備えよう！

■市政の動き

イギリス文化を体験しよう、馬ヶ背茶屋がオープン／小学生が一日図書館員、市制施行50周年記念事業実行委員会／バリアフリー懇話会が中間報告、日向市ホームページを開設ほか

■まちの話題

海王丸入港式、日向物産振興協会を設立／子育て講演会、青果市場を見学ほか

■インフォメーション

日向市美術展覧会開催要項、プール・海水浴場の監視員募集、／ひよっとこ夏祭り実行委員会スタッフ募集、「ひゅうが百景フォトコンテスト」募集など

介護保険制度

～誕生から1年～

介護を社会全体で支えるための、介護保険制度が誕生してから、1年が経過しました。全く新しい制度の創設であり、市民の皆さんの中には、戸惑いや不安を持たれた人も多かったと思います。しかし、市民の皆さんのご理解と介護サービス提供事業者などのご尽力により、大きな混乱もなく、円滑にスタートできました。今月号では、この1年を振り返り、介護保険事業の状況について、報告します。

●要介護（要支援）認定を受けた人

介護保険制度の介護サービスを受けるには、まず、要介護（要支援）の認定を受ける必要があります。市の要介護（要支援）認定の状況は、表1のようになっています。高齢化は、全国的にも著しい早さで進んでいます。本市におい

ても、高齢者（65歳以上の）が年々増加している状況です。これに伴い、要介護（要支援）の認定を受ける人も年々増加しており、この傾向は、今後とも続くと思われ

●介護サービスごとの利用者数

介護サービスの種類は、居宅サービスと施設サービスに分けられます。それぞれの介護サービスごとの利用者数は表2のとおりとなつて

■表1・要介護認定を受けた人数

項 目	平成12年4月末	平成13年1月末	増減件数
65歳以上の人口	10,494	10,736	242
認定者数	1,125	1,271	146
要支援	236	205	-31
要介護1	297	380	83
要介護2	162	187	25
要介護3	151	157	6
要介護4	167	195	28
要介護5	112	147	35

■表2・介護サービス種類ごとの利用者数（居宅サービス利用者）

サービス種類	平成12年4月	平成13年1月	増減件数
訪問介護	163	295	132
訪問入浴介護	23	25	2
訪問看護	46	70	24
訪問リハビリ	2	3	1
通所介護	254	312	58
通所リハビリ	265	266	1
福祉用具貸与	6	119	113
短期入所生活介護※1	29	38	9
短期入所療養施設※2	27	12	-15
短期入所療養介護※3	0	1	1
居宅療養管理指導	11	33	22
痴呆対応型共同生活介護	6	16	10
特定施設入所者生活介護	0	11	11

- ※1 特別養護老人ホーム等を利用したショートステイ
- ※2 介護老人保健施設を利用したショートステイ
- ※3 療養型医療施設を利用したショートステイ

■表3・介護サービス種類ごとの利用者数（施設サービス利用者）

施設の種類	平成12年4月	平成13年1月	増減件数
介護老人福祉施設	143	144	1
介護老人保健施設	101	113	12
介護療養型医療施設	38	42	4

●支給限度額に対する利用状況

居宅介護サービスにおいて、各要介護度ごとに支給限度額が決められています。各要介護度ごとの利用者の平均利用額は、表4のとおりとなっています。平均すると、支給限度額の約50・5パーセントを利用しているという結果が出ています。

これは、全ての利用者が支給限度額まで利用するのではなく、この支給限度額の範囲内で個々のニーズに応じて利用しているからです。

平成13年度日向市介護保険料のお知らせ

第一号被保険者（65歳以上）の介護保険料は、平成12年中の所得に対する、平成13年度の住民税の課税状況と、平成13年4月1日の世帯状況により、保険料の額（段階）が決定されます。

今年の9月までは、国の特別対策による減額が実施されますが、10月からは本来の保険料を納めていただくこととなります。

●特別徴収

国民年金、厚生年金などの老齢・退職年金を年間で18万円以上受給している人は、年金から自動的に差し引かれます。

※ 年金は、保険料が差し引かれた後の金額が振り込まれることに

●普通徴収

特別徴収以外の人を普通徴収といいますが、平成13年2月と同額の保険料が差し引かれます。10月、12月、2月は、決定した保険料から仮徴収分を差し引いて計算されます。保険料の通知は、9月に送付する予定です。

対 象 者	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階
老齢福祉年金受給者で世帯全員が市民税非課税の人	生活保護受給者	本人が市民税非課税で、世帯全員も非課税の人	本人が市民税非課税で、世帯の誰かに課税されている人	本人に市民税が課税されていて、前年の所得250万円未満の人	本人に市民税が課税されていて、前年の所得250万円以上の人

■表6 各段階ごとの保険料（年額）

	平成12年度	平成13年度	平成14年度
第1段階	4,600円	13,800円	18,500円
第2段階	6,900円	20,800円	27,700円
第3段階	9,200円	27,700円	37,000円
第4段階	11,500円	34,700円	46,300円
第5段階	13,800円	41,600円	55,500円

※ 転入の場合、転出日の前月まで、前住所地で保険料がかかります。納めすぎになる場合は、後日、還付（払い戻し）されます。

介護保険料の内容や口座振替の活用、分割納付等については、福祉事務所介護福祉係（☎内線2177、2178）へお問い合わせください。

■表4・支給限度額に対する利用状況（平成12年4月～平成13年1月）

要介護区分	利用人数（人）	平均利用額（円）	割合（％）	支給限度額（円）
要支援	1,752	34,820	56.6	61,500
要介護1	2,583	75,044	45.3	165,800
要介護2	1,079	113,529	58.3	194,800
要介護3	759	146,615	54.8	267,500
要介護4	536	152,297	49.8	306,000
要介護5	411	161,683	45.1	358,300
合 計	7,120	89,425	50.5	—

特集 風水害に備えよう！

6月から10月にかけて梅雨による長雨や集中豪雨、台風の接近・上陸により、毎年のように全国各地でさまざまな災害が発生しています。本市でも平成9年の耳川流域の水害や、平成10年の細島での竜巻などの被害が記憶に新しいところです。

台風や豪雨は、地震と違ってある程度、襲来時期や規模を予測することができます。普段から気象情報に注意し、万全の心構えで風水害に備えましょう。



昨年実施した危険個所の点検

台風や豪雨などは、その襲来時期や規模、被害の程度などの予想が可能です。そのため、事前の対策次第で被害を最小限にすることができます。台風や大雨が近づいたら気象情報には十分注意し、適切に対応するよう心掛けましょう。

わが家の風水害対策 十か条

- ① 気象情報を注意深く聞き、外出はできるだけ避ける。
- ② いつでも避難できる服装で、非常持出袋を用意する。寝るときもそのまま避難できる服装で。
- ③ 懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池を用意する。
- ④ 断水に備えて飲料水、生活用水を数日分確保する。
- ⑤ 家を一周し、屋根、壁の状態や雨どいの詰まりなどのチェックを。
- ⑥ 植木鉢や物干し竿など飛ばされそうなものは室内に取り込むか、しっかりと固定する。
- ⑦ 窓ガラスのひび割れは補強、修理し、戸や窓のすきまにビニールテープをはる。雨戸は閉める。
- ⑧ 浸水の恐れがあるときは、家財道具をできるだけ高い場所に移す。タンスの引き出しや押し入れの下段のものは上の段に移す。

避難場所を確認しましょう

市では、別表の施設を風水害時の避難所として指定しています。この中で、公的公民館（中央、日知屋、細島、南日向、美々津）



地図で確認し合う参加者

自主防災組織を作りましょう

については、いつでも避難者を受け入れられるように対応していますが、その他の施設については雨量や台風などの規模により段階的に避難所として開放しています。避難所についてのお問い合わせは市総務課（☎内線2222、夜間52-2116）まで。

災害が市内全域で発生した場合、交通の遮断が予想され、公的機関による救護活動がすぐに行われない可能性があります。こうした場合に力を発揮するのが自主防災組織です。

災害危険個所総点検を実施

それぞれ決められた分担の活動を行い、住民が安全に避難できるようになります。

市は、大雨の季節を前に5月24日、国・県の関係機関合同で災害

危険個所総点検を実施しました。総点検は、特に危険と思われる場所や現在対策工事が進められている場所を中心に実施しました。これらの危険個所については、順次対策工事を進めています。また、危険個所につきましては、標示板を設置していますので、地域の皆さんは危険個所の認識をしていただくとともに、避難場所の確認や日ごろからの対策を立てるようにしてください。

風水害時避難場所

《富高地区》

◆日向市役所◆日向勤労青少年体育センター◆日向市勤労青少年ホーム◆日向市武道館◆日向市中央公民館◆日向市文化交流センター◆富高小学校◆上町保育所◆八幡神社◆西川内営農研修センター◆富高保育園◆日向中学校◆日向市総合福祉センター◆日向台不動寺公民館◆花ヶ丘公民館

《塩見地区》

◆塩見小学校◆農村婦人の家◆奥野集落センター◆永田集落センター◆日向高等学校

《財光寺地区》

◆山下公民館◆財光寺小学校◆財光寺南小学校◆切島山2区公民館◆財光寺中学校◆長江公民館

《日知屋地区》

◆富島高等学校◆富島中学校◆日知屋公民館◆日知屋児童センター◆日知屋保育所◆日知屋小学校◆日知屋東小学校◆永江公民館◆曾根公民館◆堀一方公民館◆幡浦公民館◆大王谷中学校◆大王谷小学校◆庄手公民館◆梶木公民館

《細島地区》

◆細島公民館◆細島小学校◆細島地区コミュニティセンター◆細島保育所

《平岩地区》

◆日向工業高等学校◆岩脇中学校◆平岩小学校◆南日向公民館◆曙地区集落センター◆金ヶ浜地区集落センター◆杣木集落センター◆鵜毛分校

《幸脇地区》

◆遠見公民館◆幸脇小学校◆飯谷地区集落センター

《美々津地区》

◆余瀬営農研修センター◆美々津公民館◆美々津中学校◆落鹿公民館◆高松公民館◆宮ノ下地区構造改善センター◆寺迫小学校◆美々津小学校◆田の原分校

※各家庭では、避難場所を熟知することはもちろんのこと、その場所までのルートについても確認しておいてください。詳しくは市総務課（☎内線2222、夜間52-2116）まで。

イギリス文化を体験しよう

イースター祭り

イギリスの伝統と文化を体験し、理解してもらおうと、4月28日、日向市中央公民館で交際交流員のジョナサン・ガリモーさんが、イースター祭りを開きました。祭りには、市内の子供約50人が参加し、クイズや卵のデザインを楽しみ、イギリス文化にふれ交流を深めました。



卵を手に子供たちに説明するガリモーさん

このイースター祭りは、復活祭とも呼ばれていて、春になり新しい生命の誕生や生活がはじまることを祝う、イギリスではクリスマスに、大切なお祭りです。イースターとは誕生の女神の名前からつけられました。長く寒い冬が終わり、春になると地球の生命が再び元気になるということから、昔から北ヨーロッパでは、春の祭りとして親しまれてきました。

この祭りのシンボルはウサギと卵です。その理由は、ウサギは繁殖力があるので、出産の意味があり、卵からは、新しい命が誕生することから、新しい生活を始めるということから、新しい生活を始めるということが連想できるからです。

イギリスでは、この卵に小さい顔を描いたり、きれいに色付けして飾ったり、その卵を親しい人に贈る習慣があります。

参加した子供たちは、マジックなどで、卵に思い思いのデザインを描き、きれいに色付けしていました。

卵には、子供たちの豊かな想像力でいろんな模様がつけられていました。しかし、せっかくきれいに色づけして、模様を描いた卵を、うっかり力を入れすぎて壊してしまったり子供もいて、新しい卵と取り替えてもらっていました。

ガリモーさんは、「私は子供を対象にした、このような行事はとても大好きなんです。次回は、12月に楽しい行事を企画します。今日参加できなかった子供たちは、ぜひ参加してください、と話していました。」



お母さんといっしょに色づけ

馬ヶ背茶屋が開店

馬ヶ背観光案内所内に食堂が開店し、4月25日、現地で開店祝賀会が開かれました。

祝賀会には、日向市観光協会、市商工観光課、市議会議長など関係者約50人が出席しました。

ティーパカットのあと、黒木國衛市収入役が「四季折々の、地元でしか味わえない食事の提供を楽しみにしています。」とあいさつしました。

この日は、委託先の富島漁業協同組合婦人部が、腕によりをかけて郷土料理で招待客をもてなしました。食堂は「馬ヶ背茶屋」と名付けられ、午前11時から午後5時まで営業しています。



くす玉を割り開店を祝う出席者ら

小学生が一日図書館員

春のとしよかんまつり

春の図書館まつりが5月12日、開かれ、古本市やおはなし会、国際交流員によるイギリス紹介、体験ふしぎながくの世界などの行事が行われました。

一日図書館長には、国際交流員のジョナサン・ガリモーさんが就任し、宮副正教育長から辞令を手渡されました。



貸出業務を手伝う後藤さんと海野さん

宮副教育長は、「今日は、市民のみなさんから寄贈していただいた、古本の市もありますので、楽しんでください。」とあいさつしました。

古本は無料で、一人10冊まで持ち帰りができることから、早朝から大勢の親子が訪れて、それぞれ好きな本を探していました。

この日、後藤有香さんと海野良菜さんの二人が、一日図書館員として、ガリモーさんから、委嘱を受けました。二人は早速カウンターで図書の貸出と返却業務に従事。少し緊張して、利用者に応対していました。この一日図書館員は、市内の小中学生から募集し、決定したものです。

後藤さんは「私は、本が好きで1ヶ月に何十冊も読みます。図書館員の仕事は、とっても楽しいです。」と答えました。海野さんは「とっても楽しいです。今日はがんばります。」と張り切って応対していました。

中庭では、紙芝居があり、図書館員の今西幸太さんが紙芝居を上



楽しい紙芝居

演。集まった親子はみんな、熱心に聞いていました。

図書館2階の会議室では、元中学校校長の、高森潤さんの科学実験教室「体験・ふしぎながくのせかい」が開かれました。

体験教室には親子約50人が参加しました。水を入れたコップを逆さまにしても、水がこぼれない実験では、子供たちから歓声が上がり、親子で楽しく、実験する姿が見られました。また、ピンホールカメラの実験もありました。

「ジョナサンのイギリスはいかが」では、ガリモーさんがイギリスの文化や歴史について紹介し、子供たちと楽しく交流を深めました。

市制施行50周年事業 はたけ向 参加・連携・創造

市は4月24日、市制施行50周年記念事業実行委員会(会長 山本市長)を発足させ、実行委員会主催事業と企画運営事業など50件の事業承認を行いました。

これは、日向市の半世紀を振り返り、先人たちの功績をたたえ、ともに、子供たちに誇れる郷土を残し、21世紀にふさわしいまちづくりを進めるために行うものです。主催事業は「日向入郷郷土芸能祭」など11件。

市民自主企画運営事業には33件の応募があり、このうち「プロサイフィン大会」、「耳川流域総合短歌大会」など、文化、スポーツ分野の多様な事業23件が選ばれました。



事務局から説明を受ける実行委員

全天候型運動施設を起工



お倉ヶ浜運動公園内に建設される全天候型運動施設の起工式が4月20日、現地で開かれました。同運動施設は、建設資材に耳川水系産杉材を使用して建設され、完成すると延べ床面積4810平方メートルの多目的機能を有する運動施設となります。

アリーナは人工芝張りで、野球の練習やグラウンドゴルフ場、各種イベントに利用することができ、市が目指している生涯スポーツの拠点としても期待されています。完成は平成14年1月ごろの予定です。



日向市のホームページ開設式が4月23日、市長室で行われました。山本市長が、パソコンを操作すると、市のホームページが画面いっぱいに見えました。

市のホームページは、日向市インターネット・ホームページ研究会の報告書を元に、昨年12月から実行委員会、開設に向け取り組んできました。

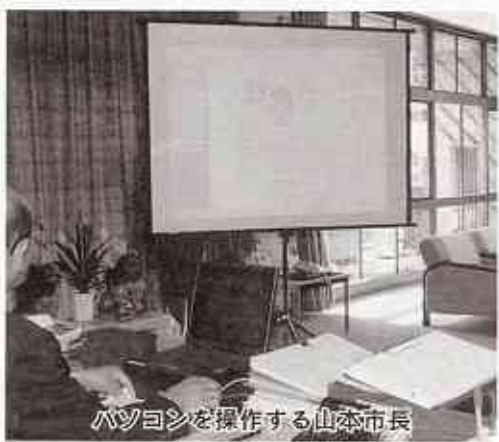
特に山本市長の目指す「誠実・公正な市政」「清潔で透明な市政」「民主的で開かれた市政」を基本

日向市ホームページ（HP）を開設

として、「だれもが住んでみたくなるまち」の実現に向けて、内容の充実を図っています。

ホームページは、「市の紹介」や「市民サービスの紹介」などの広報に関するものやまちづくりのための「百人委員会」の項目も設けました。

市は、今後は、現在進められている市庁舎内のネットワーク（LAN）の整備にあわせて、インターネットによる、市公共施設の申し込みや各種申請事務のオンライン化、行政情報・地域情報のデータベース化による利用など、地域全体の情報伝達手段の一つとして活用できると期待しています。



パソコンを操作する山本市長



教育基本方針を説明する宮副教育長

平成13年度教育基本方針説明会

教育施策を説明しました

今年度の日向市教育基本方針の説明会が、4月27日、日向市中央公民館で開かれました。

市教育委員会は、今年から、市内小中学校校長に加え、PTA会長、役員にも教育基本方針を説明することにしました。

まず、宮副正克教育長から「たくましいからだ、豊かな心、すぐれた知性」をそなえた人間の育成をめざす教育基本方針の説明があり、その後学校教育、生涯学習、社会教育、文化、スポーツ等、市のさまざまな教育施策について、各課長が説明しました。

参加したPTA会長から「PTA Aとしても今後の対応について、具体的に検討できる」などの意見が聞かれました。



市長に報告書を手渡す吉崎会長

21世紀の消防はおまかせ



左から菊池、黒木、兵頭、金丸、赤澤（敬称略）

今年、新たに採用された、市消防職員が4月17日、宮崎県消防学校（宮崎市大字郡司）初任科に、入校しました。

入校したのは、菊池直哉さん、黒木卓将さん、兵頭卓馬さん、金丸真也さん、赤澤亮信さんら5人。これから10月下旬まで、134日間の教育訓練を受けた後、消防士として配属されます。先輩の市消防士らは「苦しい訓練だが、知識や技術だけではなく、消防士として市民の安全な生活を守るといふ、自覚と精神を養ってほしい」と温かいエールを贈っています。

平成12年5月に活動を開始した第2期「日向市福祉のまちづくりバリアフリー懇話会」が1年間の活動概要を中間報告としてまとめ、4月19日、吉崎正一会長らが市長に手渡しました。

懇話会は「啓発促進・福祉サービス」、「保険・医療・教育・文化活動振興」、「雇用・就労・生活環境整備」の3つの部会に分かれて、それぞれが連携し活動してきました。

昨年はその活動の中心を「日向市障害者プラン」の内容の点検に据え、社会福祉基礎構造改革の学習にも力を入れてきました。

報告は「県内でも早くから障害者プランが作成された点は高く評価できる、具体的数値目標を掲げるべき、精神障害者に対する記述が不足、身体障害者の雇用・就労の促進と支援の充実」など、主な問題点等について指摘しています。

特に、障害者の雇用・就労問題については、「事業主の理解と協力は不可欠であり、社会全体で雇用に取り組み気運を作る必要がある」としています。

山本市長は「障害者プランは、実態に則したプランにしたい。今後とも、うるおいと生きがいを持ち、生活できる施策を展開したい。」と述べました。

懇話会は、来年3月に最終報告書を提出する予定です。

市長随想



山本 孫春 ②

新緑の誘い

「みどりの日」を中心に、大自然は新緑に包まれ百花繚乱。新生の息吹をこれほど強く感じる季節はありません。久しぶりに長女の住む京都を訪れました。乗車したタクシーの運転手さんとの会話の中で、「新緑の誘い2001」の企画が、大原の里・宝泉院で4月27日から5月6日まで開かれていることを聞き、大変興味を感じました。

そのことを娘に話したところ、早速家族で拝観しようと宝泉院へ。境内に足を入れるとライトとローソクでライトアップされた光景が目飛び込んできました。入口で頭香を手にしたとき、心身を清め静かな部屋に入ると、そこには水琴窟から水滴が奏でる音。まさに三位一体となった光と香りと音の癒しは、多次元的幻想空間を体験でき、そこに、生き生きと新しい活力がみなぎってきました。

■広報紙に掲載された写真を差し上げます。
希望する人は、市総務課(☎内線2234)まで。



子育てはあたたかく、ゆったりと

子育て講演会が5月18日、日向市中央公民館で開かれました。講師は、早稲田大学教授、増山均さん。「不安の子育てから安心の子育てへ」と題して講演しました。

増山さん自身、5人の子供を育てたが、母の時代の子育てには及ばないことが多いとユーモアを交えて語りました。

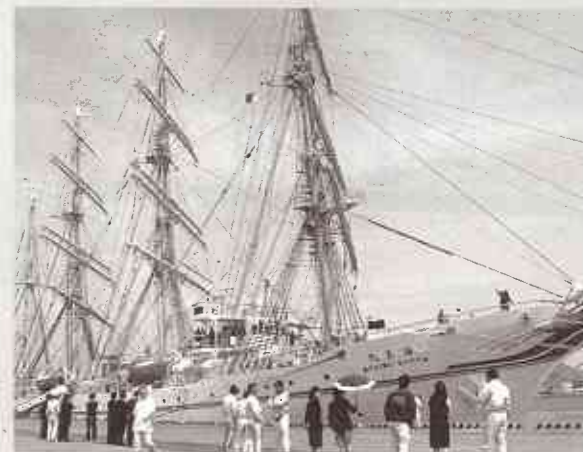
子育てには、欧米なみに安心して子育てできる、社会のシステムの構築も当然必要だが、まずは親自身の意識を改革することが大事。夫婦だけで子育てをせず、仲間を作り、「子育てはあたたかく、ゆわらかく、ゆったり」とやることが、キレイな子供を育てる一番の方法だ、と述べました。

また、度重なる17歳による事件、「キレイ」子供、不登校、児童虐待など、昔より問題が増えているのは、現代社会が生産を伴わない、生産過程が見えない、消費だけの社会になり、家族で食事をとらないなど児童の個食問題、不況による大人の側の不安など、社会の冷たい風が子供に影響しているからだ指摘。国連が採択している子供の権利条約を紹介し、しめくくりました。

TOWN-TOPICS まちの話題

海の貴婦人が入港

「海の貴婦人」として親しまれる、練習帆船海王丸が4月27日、細島工業港に入港しました。海王丸は練習船で、今度の航海は、東京の商船大学、商船高等専門学校、海技大学などの実習生ら89人を含む、155人が乗船しています。4月23日に長崎港を出航し、乗組員の休養などのため細島港に寄港したものです。



細島工業港に入港した海王丸



花束贈呈を受ける飯田船長ら

黒木國衛市収入役が「十分休養し、これからの訓練に備えてほしい」と歓迎の言葉を述べました。これに対し、飯田俊夫船長が「休日を利用し、日向の神話に親しみたい」とあいさつしました。海王丸は、昭和62年から3年計画で建造が進められ、平成元年に竣工した大型帆船です。全長110メートル、総トン数2556トン、航海速度は最高で13ノット。

青果市場を見学しました



日向青果地方卸売市場を諸塚村内の小学生30人が5月9日、見学に訪れました。小学生らは、河野市場長から市場の施設の様子、市場の役割、市場で働く人たちが荷受からセリにかけ、消費者へ渡る一日の流れなどの説明を受け、熱心にノートを取っていました。第3セクターで施設を管理する同市場には、野菜や果物などの青果が、県内はもとより全国から集まります。一日に40トンがセリにかけられます。



みんなでなかよくあそんでね

こどもの日の前の4月24日、市は公立の3保育所と法人立の16保育園に遊具をプレゼントしました。子供たちの健やかな成長を願って毎年行っているもので、今年はやわらかいスプリングボール12個を贈りました。この日は、山本市長がひよこ保育園(山本巖園長・園児69人)を訪問。出迎えた赤木育太君、黒木聖加ちゃん、大村龍留也君に「楽しく遊んでください」と手渡すと、3人は「はい」と元気よくこたえていました。

地場産品の生産販売を促進



日向物産振興協会の設立総会が4月20日、市役所で開かれました。協会は、地域地場産品の生産販売を促進し、共同宣伝、販路拡大に努めるため設立されたもので、日向市、入郷町村の30業者が加盟しました。会長に、松本龍太日向商工議所専務理事を選出。総会には日向市、入郷町村、各商工会など関係者約50人が出席し、地域地場産品振興のための各種事業への積極的参加などを確認しました。

県農村女性指導士です



農村女性の地位向上に関する活動促進を担う、県農村女性指導士に認定された女性らが4月20日、市農林水産課を訪問しました。訪問者は、黒田茂子さん(奥野地区)、児玉孝子さん(本宮地区)、黒木真壽美さん(高松地区)の3人で、それぞれ果樹、花き栽培、畜産、施設野菜等の農業を家族と共に経営し、それぞれの地域で大変信頼されている、地域の中心となる人たちです。今後の活躍が期待されています。

情報伝言板

「情報伝言板」は、皆さんの自主的な活動を応援するコーナーです。サークル活動などの会員募集やイベントなどの情報をお寄せください。営利や政治・宗教活動を目的としたものはお断りします。

原稿は、毎月1日までに市総務課（☎内線2234）へ。ただし、紙面のスペースの関係上、掲載できない場合があります。

■県下一斉無料歯科健診・相談

6月4日から10日までは、歯の衛生週間です。この週間にあわせ宮崎県歯科医師会及び各市郡歯科医師会では、6月4日（月）から8日（金）まで無料歯科健診・相談を実施します。会場は「歯の無料健診・相談」のポスターか会員証を掲示している歯科医院です。

■スポーツボランティア募集

9月に本県で開催される「日本スポーツマスターズ2001宮崎大会」の、大会運営をお手伝いいただくボランティアを募集します。

◇活動期間＝9月21日（金）～25（火）

◇活動場所＝宮崎市、都城市、日南市、日向市、佐土原町、高鍋町の各競技会場ほか

◇応募資格＝①平成13年4月1日現在で満15歳以上の人、②原則2日以上活動できる人、③事前の研修に参加できる人

◇申込方法＝市社会体育課に備え付けの参加申込書を記入し、郵送、FAXなどでお申し込みください。

◇申込締切＝6月15日（金）当日消印有効

◇応募・お問い合わせ＝日本スポーツマスターズ2001宮崎大会実行委員会事務局（☎0985-32-4471、FAX0985-32-4472）

市制施行50周年記念事業 「はばたけ！日向」～参加・連携・創造～

『市民自主企画運営事業』の紹介

■音響反射板の体験演奏会 第1部「朝のきらめきコンサート」と第2部「アルバート・ロトピアノリサイタル」

◇日時＝7月1日（日）10：30～、14：00～

◇場所＝日向市中央公民館ホール

◇内容＝音がきらめく不思議な音響反射板を設置したホールで演奏家と聴衆がともに豊かな響きに包まれるコンサート。第1部（10：30～）には、日向混声合唱団、ひむかいコーラス、寿百万石オールスターズ、アンサンブル・サンティエ、松浦真由美さんが登場（入場無料・要整理券）。第2部（14：00～）はニューヨーク出身のピアニスト アルバート・ロト氏が温かな魂の音色を奏でるピアノリサイタル（全席自由2,000円・当日2,500円）。

◇問い合わせ先＝音楽交流会（53-2754 高橋）

■「遊・YOU・ゆう」ビーチバレー大会

◇日時＝7月15日（日）9：30～

◇場所＝お倉ヶ浜海水浴場

◇内容＝日本の渚100選のお倉ヶ浜と輝く太陽の下で開催する4人制ビーチバレー大会です。（参加費1チーム4,000円）

◇申込期間＝6月1日（金）～6月15日（金）
◇問い合わせ先＝日向市青年団連絡協議会（日向市役所52-2111・内線2168 高瀬）<http://www.mnet.ne.jp/~box11755/beach.html>

図書館 ア・ラ・カ・リ・ト

「蔵書点検による休館」について（案内）

図書館の現在の蔵書冊数は、約81,000冊、しかし、の中には所在不明の図書も含まれます。みなさんの中には、検索機で「貸出可」になっているのに、探しても本が見つからない・・・という経験をした人もいます。無い本について調べ、探し出そうとすることを「蔵書点検」といいます。市立図書館では、この度、この蔵書点検のために9日間の休館をします。この休館中には点検の外に、破損図書の修理なども行い、みなさんが利用しやすい環境づくりを図ります。みなさんの蔵書点検後のご来館をお待ちしています。

◇蔵書点検による臨時休館＝7月1日（日）～7月9日（月）

◇6月の休館日＝6月1日、4日、11日、18日、25日

ぼくたち わたしたちの



今月号は、首都圏在住のふさと大使に、故郷・日向市に対する思い出を寄せていただきました。

『東京従兄弟会』

黒木 巖さん（70歳・幡浦出身）



現在の細島港になる前は、田畑、塩田、砂浜があり、その先の海には竹島が浮かんでいた。昔は親戚一同で田植えを終えた後「さのぼり」と称して漁船で竹島に慰労の磯遊びに行った。親戚の集まりで、従兄弟らは顔や名前はもちろん性格までわかっていた。どんな場合でも、年上の者が年下の面倒を見て、年下の者はそれに従う美風があり、町の長老の注意にはよく従う常識もあった。こんな社会風習では少年犯罪が起きる余地はなかった。

昭和27年5月、私が警視庁警察学校に入校した際、東京で勉強中の従兄弟が入校に付き添うなど面倒をよくみてくれた。従兄弟の有難さを感じていたもので、以後上京する従兄弟のため「東京従兄弟会」を作った。今日に至っている。それから50年近く、会員が結婚して家族が増えたので現在は総勢50人を超えている。最近では従兄弟の黒木敏雄議長が上京の折に臨時従兄弟会を開いている。場所は、岩脇出身で佐渡ヶ嶽部屋の初代琴若として活躍した山本光雄氏のちやんこ料理店「浜力」である。参加者は主だった会員が20人前後であり、その中には会計検査院から日向市に向向していた山口浩光氏夫妻（登美さんは日向市ふるさと大使）も特別会員として参加されている。昨年11月8日臨時会には、上京中の山本孫春市長も参加され、極めて盛会であった。

柏田宏行さん（22歳：幡浦）

小学生からサッカーをやっていて、今度、市内のサッカーチームに入りました。先日、市のリーグ戦に出場しましたが、残念ながら負けてしまいました。

次の試合を楽しみにしています。



いきいき 青春トーク



内山世希子さん（21歳：往還）

免許を取ったばかりですが、ゴールデンウィークは、熊本へドライブに行きました。職場のゴルフサークルに入っていますが、まだ練習場しか行ったことがありません。夏ごろにはコースへ出てみたいですね。

このコーナーでは、みなさんの近所の若者や職場のホープを紹介しています。紹介したい人がいる場合は、市総務課（☎内線2234）までご連絡ください。なお、自薦、他薦は問いません。ご連絡をいただいた人は、広報係が写真を撮りにうかがいます。

おしらせ

第46回水道週間

水道週間のお知らせ
毎年6月1日から7日まで「水道週間」です。

水道課は、水道利用者の一層の理解と関心を深め、水道事業の今後の発展に資するため、次の行事を開催します。

- ①権現原浄水場（大字塩見）の開放。ただし、6月2日（土）、6月3日（日）は除く。
 - ②問合せ先Ⅱ同浄水場 ☎ 54-5500
 - ③修理サービスⅡ蛇口パッキンの取り替え（無料、1戸当たり個数の制限あり）。
 - ④問い合わせ先Ⅱ日向管工事協同組合 ☎ 52-2556
 - ⑤広報教材「日向市の水道とくらし」のビデオ貸し出し（15分）
 - ⑥申し込み先Ⅱ市水道課 ☎ 52-5228
- ※水道量水器（メーター）は計量法により8年で取替

犯罪や非行のない 明るい社会を

7月は「社会を明るくする運動」強化月間です。この運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

今年、第51回を迎えます。期間中は、日向地区保護司会のみなさんを中心に啓発活動や各種大会などへの後援を行います。

「社会を明るくする運動」について市民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

事前の届け出が必要 です

老人医療及び国保加入者の食事減額制度は、1日780円となつていますが、市民税が課税されない世帯（非課税世帯）の場合650円、さらに過去1年の入院が90日を超えると500円になります。

老人の非課税世帯の場合、食事代の他に入院時の一部負担も一ヶ月の支払い限度額37200円が24600円に減額されます。

ただし、この制度を受けるためには、事前に届出が必要となりますのでご注意ください。

現在、この制度を受けている人も5月31日で定期限が切れますので、対象となる人は、6月中旬に市健康管理課に「保険証」、「老人医療受給者証」、「印鑑」を持参して手続きをしてください。

詳しくは、市健康管理課 ☎ 内線 2154 へ。

シルバー人材センター技能講習 高年齢者に技能講習を 開きます

シルバー人材センターでは、高齢者の雇用就業を目的に次の技能講習を実施します。

- ①技能内容Ⅱ樹木の剪定・造園講習、ビル清掃作業等講習、パソコン講習、訪問介護員養成研修（三級課程）、草刈機取扱講習
- ②講習期間Ⅱ6月～11月の間で、講習により異なりますので、詳しくはお問い合わせください。
- ③対象者Ⅱ55歳～65歳（ただし、訪問介護員は50歳～65歳）くらいまで。
- ④受講料Ⅱ無料
- ⑤問い合わせ先Ⅱシルバー人材センター ☎ 52-2200 へ。

花のまちづくり推進室

5月の相談

- ①交通事故巡回相談
とき 6月15日（金）
10:30～14:30
 - ②法律相談（要予約）
とき 6月14日（木）
10:00～15:00
 - ③社会福祉協議会
申込先 社会福祉協議会 ☎ 52-1010
 - ④年金巡回相談
とき 6月12日（火）
10:00～15:00
 - ⑤心身障害者相談
とき 6月9日（土）
10:00～12:00
 - ⑥身体障害者センター ☎ 52-5434
- 「市民の声ポスト」
市は、市政に対するみなさんの意見・ご要望等をお聞きするため、市民の声ポストを庁舎玄関に備え付けています。どうぞ、ご利用ください。なお、質問者に直接回答する場合もありますので、ご意見等には、必ず住所・氏名・連絡先等を明記してください。

6月の納期

国民年金保険料 6月分
この社会あなたの税が生活している

公共工事を公表します

市は13年度中に発注が見込まれる公共工事を年二回（5月末・10月初旬）公表します。

これは、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」がこのほど施行されたことに伴い、国及び特殊法人、地方公共団体に義務付けられたことによるものです。

公表する工事は、いずれ

も予定価格が250万円以上の年度内に発注が見込まれるすべての工事。ただし、すでに発注した工事や用地買収を伴ったり、突発的な災害など年度内発注の見通しが立たない工事は除きます。また、公表した工事の指名・入札結果や契約結果についても同様に公表します。

海外派遣農業研修生

- ①障害なく参加できる人
- ②選考基準Ⅱ明るく元気な人／健康で積極的な人
- ③入賞Ⅱ日向ひまわりレディ3人
- ④賞金Ⅱ10万円
- ⑤募集期間Ⅱ6月1日（金）～6月30日（土）
- ⑥お問い合わせⅡ日向市観光協会／市商工観光課内 ☎ 内線 2636 へ。

将来も継続して農業に従事できる農業青年へ

県及び（社）国際農業者交流協会は、海外派遣農業研修生を募集します。

これは、海外における農業の実践的知識技術の習得と国際的視野を広めてもらうと実施するものです。

- ①派遣先Ⅱブラジル、米国、米、国、ハワイ、欧州各国
- ②派遣期間Ⅱブラジル／平成13年12月～3ヶ月間、米国（2年コース）／平成14年6月～2年間、米国（1年コース）、米国、ハワイ、欧州各国／平成14年3月～1年間
- ③研修費Ⅱブラジル・無料（県負担）、米国、米、国、ハワイ、欧州各国／27万～76万円

あなたとわたしの 男女共同社会

本年度から新設されました、男女共同参画週間は、男女共同参画基本法の公布・施行日にちなんで、6月23日から29日までの1週間、実施されます。

同週間は、「男女が互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成に向けて、国民の理解を深める」ことを趣旨としています。日向市ではこの週間に男女共同参画社会づくり推進ルームを開設する予定です。

税金一口メモ

税証明の取り扱い窓口
次の5項目の税証明は、市税務課窓口だけでなく、細島、岩脇、美々津の各支所でも交付していますので、ご利用ください。

- ①所得証明書
- ②課税証明書
- ③資産証明書
- ④軽自動車税納税証明書
- ⑤土地・家屋名寄帳の写し

※手数料は、いずれも1件又は1枚300円。代理人が証明書の交付を受ける場合は、同一世帯の場合を除き、委任者本人が作成した委任状が必要です。

ねんきん何でも Q&A

《Q》現況届が送られてきたのですが、どのようにすればよいでしょうか。

《A》年金を受給されている人は、毎年誕生日の月に東京の社会保険庁から現況届が送られてきます。現況届が送られてきたら、必要事項をお書きのうえ早めに返送してください。現況届は年金を受給している人の生存を確認するためのものです。そのため、はがきを出し忘れると、年金が一時的に止まることになりますのでご注意ください。

ご存知ですか？福祉制度

◎児童扶養手当

父親と生計を同じくしていない児童（18歳に達した日以後、最初の3月31日までの間にあるもの。障害者は20歳未満）に支給されるものです。所得制限のほか、支給資格に該当するようになった後、請求をしないままに5年間を経過すると請求権がなくなりますので、ご注意ください。

◎母子家庭医療費助成制度

父と生計を同じくしていない家庭に対し、医療費の助成を行うものです。
◇対象＝20歳未満の児童を扶養している配偶者のない人及び上記の者に扶養されている児童（18歳に達した日以後、最初の3月31日までの間にあるもの）
※ただし、所得制限があります。

◇助成額＝1か月の保険診療の本人負担額の合計額から1000円を差し引いた額

◎母子家庭・父子家庭及び寡婦介護人派遣事業

母子・父子家庭や寡婦の方が病気で日常生活を営むのに支障がある場合や、出張、冠婚葬祭などで子どもの生活が一時的にみられなくなった場合などに、介護人（ホームヘルパー）を一時的に派遣するものです。事前に登録が必要です。

これらの制度等に関するお問い合わせは、市福祉事務所児童母子係（☎内線2164）へ。

選挙公報の 配布方法が変わります

各種選挙の際の選挙公報は、これまで区を通じて各家庭に配布してきましたが、今後は、配布方法が次のようになります。

今年夏に予定されている参議院議員通常選挙からは、投票日の数日前の朝刊紙（宮崎日日新聞・毎日新聞・朝日新聞・読売新聞・西日本新聞の5紙）に選挙公報を折り込み、各家庭に配布いたします。

なお、以上の朝刊紙を購読されていない家庭については、あらかじめご連絡していただければ郵送によりお届けしますので、早めにご連絡ください。

◇連絡・問い合わせ先＝市選挙管理委員会事務局（☎内線2231）

福祉のまちづくりに 興味のあつた人

市は今年度、県から「人にやさしい福祉のまちづくりモデル地区」の指定を受けました。これは、モデル地区内における公共交通機関、道路、公園等について、障害者や高齢者等の利用に配慮した施設整備を図ろうとするもので、施設等整備については、障害者や高齢者、関係機関などをメンバーとして検討することとしています。今回、市民代表の立場での検討委員を募集します。

福祉のまちづくりに興味のある人は、ご応募ください。

を策定します。この計画策定については、子育て団体、関係機関等をメンバーとする委員会を組織検討することとしています。

◇募集定員＝若干名
◇申込期限＝6月15日（金）
◇申込・問い合わせ＝市福祉事務所障害福祉係（☎内線2174）

子供を安心して生み 育てるために

少子化・核家族化が進行する中で、子どもを安心して生み育てるために、子育て家庭の支援や子育てを地域全体で支えていく諸施策を計画的に推進するため「日向市児童育成計画」

◇募集定員＝若干名
◇申込期限＝6月15日（金）
◇申込・問い合わせ＝市福祉事務所児童母子係（☎内線263）

届け出が必要

現在、児童手当を受けている人は、毎年6月に養育の状況等を届け出る「現況

届」を提出する必要があります。この現況届を提出しないと、6月分以降の児童手当の支給を受けることができなくなります。
該当する人には、6月初旬に案内を郵送しますので、必要書類を添えて、必ず6月1日（金）から29日（金）までに市福祉事務所17番窓口へ提出してください。

◇募集資格＝市内に居住または勤務する20歳以上の人
◇定員＝640人
◇受講内容＝パソコンの基本操作など入門程度
◇募集期間＝6月4日（月）から6月15日（金）詳しくは市社会教育課（☎内線2423）へ。

2期生を募集します

第2期となる7月、8月分の受講生です。

◇日程・会場＝1講座12時間。申込用紙の日程表の中から希望するコースが選べます。

◇応募資格＝市内に居住または勤務する20歳以上の人
◇定員＝640人
◇受講内容＝パソコンの基本操作など入門程度
◇募集期間＝6月4日（月）から6月15日（金）詳しくは市社会教育課（☎内線2423）へ。

◇募集人員＝ブラジル／2人、米国、米国ハワイ、欧州各国／若干名
◇募集期間＝4月16日～7月13日

◇募集資格＝ブラジル／20歳～28歳の男性、米国、米国ハワイ、欧州各国／昭和46年4月2日～昭和58年4月1日生まれの男女（派遣先によって男性独身の制限あり）

◇申込み・問合せ先＝市農林水産課（☎内線2313）

日向市よつこ夏祭り

実行委員・運営ボランティアスタッフ

8月4日（土）に日向市よつこ夏祭りが、8月5日（日）に納涼花火大会が開かれます。今回から「市民主体の企画・運営」が祭りの基本コンセプトです。そこで、同夏祭りとは花火大会プログラムの企画をする実行委員を募集します。また当日の運営をするボランティアスタッフも募集します。

市民のみなさんの積極的な参加をお願いします。

◇募集定員＝制限なし
◇募集期間＝7月10日（火）

◇申込・問い合わせ先＝市

商工観光課（☎内線2636）
日向市よつこ夏祭り

（仮称）「ひよつこダンスバトル」参加者募集！
ひよつこ踊りの要素を一部取り入れた踊りなら、何でも結構です。入賞チームには豪華賞品を授与します。

◇日時＝8月4日（土）昼間

◇場所＝市役所前広場「ひよつこ夏祭り」アトラクション会場

申込・問い合わせ先＝市商工観光課（☎内線2636）

市制50周年記念事業

後世に残したい風景の 写真

市制施行50周年記念事業実行委員会では「ひょうが百景フォトコンテスト」を実施します。後世に残しておきたい市内の風景、祭り、市民の営みなどを題材に、自由な発想で応募してください。ただし、平成13年1月1日から平成14年1月31日までに撮影した写真に限ります。

- ◇一般部門
 - ①種類＝白黒、カラーどちらでもよい。単写真にかぎる。
 - ②サイズ＝四切プリントで応募してください。ワイドサイズでもよい。
 - ③その他＝額装、デジタル写真、デジタル修正写真は認めない。
 - ◇ファミリー部門
 - ①種類＝白黒、カラーどちらでもよい。単写真にかぎる。
 - ②サイズ＝2Lサイズで応募してください。キャビネ版でも可。
 - ③その他＝額装、デジタル写真、デジタル修正写真は認めない。
- ◇応募資格＝全国のどなたでもプロ、アマ問わず応募できます。
- ◇応募期間＝平成14年1月7日（月）～1月31日（木）
- ◇応募方法＝応募票（市商工観光課に有り）を作品裏に貼り、市商工観光課内「ひょうが百景フォトコンテスト係」へ提出してください。一人何点でも応募できます。
- ※一般部門の応募者はファミリー部門に応募できません。

詳しくは、市商工観光課（☎内線2637）へ
日向市総合美術展覧会

あなたも出品しませんか

◇会場・会期＝①日向市文化交流センター／8月25日（土）～9月2日（日）、②高鍋町美術館／9月6日（木）～9月12日（水）
◇出品資格＝15歳以上（中学生は除く）
◇種目＝絵画、書道、写真、工芸・彫刻、デザイン
◇出品点数＝1部門につき1人2点までとし、他の公募展において未入選の作品に限る。

◇候補者資格＝本県出身、県内在住者または県内に所在する団体で、次に掲げる部門において、本県の文化の向上発展に特に顕著な業績を有するもの。
◇部門＝①学術部門、②技術部門、③芸術部門、④文化功労部門、⑤体育部門
◇推薦者資格＝①県内在住者（自薦は除く）、②県内に所在する機関又は団体、③本県出身者で構成する団体
◇推薦方法＝①一人の候補者について、一つの部門について行うものとする。②別紙様式による推薦書に、候補者の業績に関する資料及び候補者の写真を添えて提出するものとする。
※個人が推薦する場合は、その居住する市町村又は市町村の教育委員会を経由すること
◇受付期限＝7月2日（月）必着
◇提出先＝県文化振興課（☎0985-26-7117）

推薦してください 文化に功績のあつた人

あこやがひろは



一政愛里ちゃん
裕己・恭子(花ヶ丘)



田中美咲ちゃん
千春(浜町)



橋口尚輝くん
憲人・善江(新生町)



天野佑香ちゃん
仁亮・エリカ(立縫)



泉口彩実ちゃん
大・亮子(公園通り)



池田晴菜ちゃん
忠雄・いづみ(鶴町)

乳幼児健診

- 3か月児健診＝日時／6月8日(金)、22日(金)、対象／平成13年3月生まれ
 - 7か月児健診＝日時／6月15日(金)、対象／平成12年11月生まれ
 - 1歳児健康相談＝日時／6月12日(火)、対象／平成12年5月生まれ
 - 1歳6か月児健診＝日時／6月7日(木)、対象／平成11年11月生まれ
 - 3歳児健診＝日時／6月1日(金)、対象／平成9年11月生まれ
- ※受付時間は、3か月児・7か月児／午後1時～1時30分、1歳6か月児・3歳児／午後1時～2時、1歳児／午前9時30分～10時です。母子健康手帳を忘れずに、市民健康管理センターへ。

すくすく教室

- ◇日時＝6月26日(火)午後2時～午後3時30分
- ◇対象＝生後6か月までの乳児を育児中のお父さん、お母さん
- ◇内容＝①栄養士との離乳食作り・試食、②体重測定・身長測定、③赤ちゃんの健康相談、④ママやパパ同士の交流会など
- ◇会場＝市民健康管理センター
- ◇持参するもの＝母子健康手帳
- ※予約・参加料は、必要ありません。

6月の休日在宅医

※事前にテレホンサービス
(☎53-1214)で確認を!

3日	二木医院(産・外・胃腸☎54-4468) 吉田クリニック(内・循環☎55-0770) 協和病院(精神・神経☎54-2806) 長田整形外科(整外・リウ・リハ☎63-0507)
10日	鮫島(整)医院(整外☎52-8191) 吉森医院(内・胃腸・循環・呼吸☎52-4046) 医心内科(内☎55-0157)
17日	古賀内科胃腸科(内・胃腸☎52-8118) 大久保医院(外・胃腸☎52-5338) 白石医院(内・呼吸☎63-1365)
24日	向洋クリニック(泌尿☎52-5488) 田中病院(内・放・精神・神経・リハ☎63-2211) 日向内科(内・小児・胃腸☎52-0880)

すくすく教室OB(ネーミング募集中)

- 市は、生後6ヶ月以降の乳幼児と保護者の仲間づくりの場所として、市健康管理センターを開放しています。
- ◇日時＝毎週火曜日午後2時～3時30分
- ◇対象＝生後6ヶ月以降の乳幼児と保護者
- ◇内容＝自主的な交流会

パパママ教室

- ◇日時＝7月1日(日)、15日(日)午前10時～12時
- ◇対象＝出産を迎えるパパとママ
- ◇内容＝赤ちゃんのおふろの入れ方、妊娠疑似体験、妊娠中の歯の管理(歯科医師・歯科衛生士)、パパとママのための栄養の知識など
- ◇会場＝日向市民健康管理センター
- ◇申込方法＝開催日の1週間前までに氏名、連絡先を市健康管理センターまでご連絡ください。

健康診査について

平成13年4月から、市内の医療機関で、基本健康診査、各種がん検診が実施されています。基本健康診査については、高血圧等の疾患で治療中の人は受けることができません。健康診査は、隠れている病気の発見だ

ヘルシークッキング

ピーマンのお浸し

《材料4人分》
ピーマン 300g
しょうゆ 大さじ 1
みりん 小さじ 1
酒 小さじ 2
削りかつお 少々
いりこま 少々

《作り方》
①ピーマンは半分に切ってへたと種をとり、レンジにかける。
②分量の調味料でピーマンを和える。
③削りかつおとこまをちらす。

エネルギー25Kcal
塩分 0.7g

けではなく、年とともに変わる体の機能を調べ、生活改善の指標にもなります。年1回は、健康診査を必ず受けましょう。

一般健康相談(一般クリニック)

- 日向保健所からのお知らせです。次の日程で健康相談に対する保健指導及び就職、進学等に必要な診断書を発行します。
- ◇日 程＝第1・第3木曜日
- ◇受付時間＝午前9時～11時
- ◇料 金＝有料(検査により料金は異なります)
- ◇お問い合わせ先＝日向保健所(☎0982-52-5101)

胃集団検診日程

日 時	会 場
6月1日(金)	往還公民館
6月5日(火)	切島山2公民館
6月6日(水)	比良公民館
6月7日(木)	農村婦人の家
6月8日(金)	農村婦人の家

- ◇対象＝30歳以上
- ◇受付時間＝午前7時30分
- ◇料金＝900円

ボランティア募集

市では毎月1回、市健康管理センターで実施する機能訓練教室などの行事の手伝いをしていただく人を募集しています。やる気と時間の都合のつく人はご連絡ください。
◇申込先＝市健康管理センター(☎内線2182)

6月の献血日程

6日(水)	日向市役所	9:00~16:00
14日(木)	富士チタン工業 日向市環境整備課 JA日向 日向支店	9:30~11:00 11:30~13:00 14:30~17:00
15日(金)	九州電力日向営業所 日向警察署	8:50~12:00 13:30~16:00

24時間子育て

テレホンサービス
☎53-5857
日向市保育協議会



6/4(月)	説明は分かりやすく具体的に (1)伝わりにくい親の気持ち (2)親のいうことを間違えて理解している (3)具体的なでない言葉はわかりにくい
6/10(日)	
6/11(月)	子供の食生活と異常心理 (1)原因が分からず、体の不調を訴える (2)食べ物アレルギー (3)拒食症・過食症
6/17(日)	
6/18(月)	豊かな情操を育てる (1)情操を育てる2つの面 (2)情操はお母さんとのふれあいで (3)親の感情(心)が子供の情操を育てる決め手
6/24(日)	
6/25(月)	知的遊びのねらいその1 (1)知的遊びとは (2)知的遊びのねらい (3)知的遊びで大切なこと
7/1(日)	

4月中の交通事故

日向市分	() 内前月比
人身事故 死 亡 負傷者 物損事故	
42件 0人 51人 99件	
(-6) (±0) (-23) (+7)	

～止まって確認!無事故に挑戦～

日向市の人口と世帯

(H13.5.1.現在)

人 口	58,986 人 (+195)
男	27,752 人 (+108)
女	31,234 人 (+87)
世帯数	21,880 世帯 (+136)

転 入	589人	転 出	405人
出 生	46人	死 亡	35人

面 積 117.43km²

シリーズ20
定善寺の萬靈塔

この萬靈塔は、塩見川を見下ろす小さな山の頂に佇む名刹、定善寺の庭園にあります。

その台座に記されている碑文には、こう説明されています。

「耳川水力開設工事ニ徵業中病没セル者ノ為ニ法界ノ同融ノ塔ヲ建立シ以テ廣ク其ノ供養ヲ展ヘムトス

昭和十七年癸 間組 敬白



定善寺の庭園にある萬靈塔

つまり、この萬靈塔は、耳川のダム工事中に亡くなられた人を供養するために建立されたものです。

耳川には、昭和4年12月に発電を開始した西郷発電所を初めとして、同7年発電の山須原発電所、同13年9月開設の塚原発電所、同17年1月に運転を開始した岩屋戸発電所など七つのダムがあります。

諸塚村史によると、当時九州第一といわれた塚原発電所のダム工事、延岡から古園堰堤まで索道を作り、砂利を運ぶというかつてないほどの難工事、その砂利搬送用バケツに乗って仕事中に落下し、死亡した人が数人いたようである。

この時代の諸塚村の人口は、3年間に3000人も増加し、昭和12年には、村政史上最高の8930人になったと記録されています。

また、西郷村の松浦保己さんは西郷村全寿会編「ふるさとの礎」のなかで、昭和2年に笹陰の西郷堰堤が着工すると、大分県や鹿児島

島県をはじめ、朝鮮からも労働者がきていたと昔の村の様子を忍んでおられます。作業も、馬と人手に頼っていたので大変だったようです。

昭和25年に着工され、同30年5月に総工費149億円、延べ人員500万人を動員して建設されたわが国初のアーチ式ダムである、上椎葉ダム工事では、工事期間中に105名の犠牲者が出たといわれます。昭和10年から昭和30年までの椎葉村の総人口も毎年1万人位で移行し、昭和28年のピーク時には1万5千人と現在の3倍以上になり、映画館やパチンコ店が並び、今では想像もつかない賑わいだっただけです。

このように、耳川の電源開発は昭和初期から昭和30年代のわが国の社会経済を支えながら宮崎県の発展に大きな役割を果たしてきたのです。

今、ひっそりとした木陰に黙する萬霊塔を見つめるとき、私たちの今日の繁栄の力となつて尊い命をなくされた無名の御霊に心を打たれます。

市史編さん室(云内線2236)では、日向の歴史に関する皆さんからの情報をお待ちしています。

市制施行50周年記念日向市史編さん事業

こ ち ら
編 集 室



最近の広報紙はDTPというソフトを使い、パソコンで編集します。広報を担当して2ヶ月。そろそろパソコンにも慣れたころでもあり、レイアウトなどあれこれ試してみたくありません。編集中は、いろんなアイディアが思い浮かんできます。もつと皆さんに喜んでもらえる広報を作りたいと、試しに押してみたくなく、ボタンが画面いっぱいに並んでいます。でも初心者私の私にとって、それは禁断のボタン……。今後より良い紙面を目指します。

 $\langle K$

広報 ひゅうが

平成13年6月号

■編集／日向市役所総務課

〒883-8555

日向市本町10番5号

☎0982-52-2111

■印刷／(有)第一印刷